

- (1) (b)
→ ignore = 「無視する」から類推して(c)の「無関心である」を選びたくなるところであるが, ignore は「無知な」である。「無関心な」は indifferent。
- (2) (a)
→ (b) はスペリングに注意。なお, neglectable という単語は存在しないわけではないが, 現代英語では基本的に用いられない。
- (3) (b)
→ 後者二つは三単現の s が不足しているため不適。(a)の depend は誤用である。
- (4) (c)
→ fluent in もしくは familiar with が空欄に入りうる。どちらも基本の用法であるので, ペアになる前置詞を覚えていなかった人は要注意。“<人> is familiar with <物>” に対し, “<物> is familiar to <人>” を用いる。
- (5) (c)
→ subject は「臣下・臣民」, 「対象, 被験者」, 「主題」, 「科目」などの意味を持つ多義語である。
- (6) (b)
→ respectful が「敬意を表した」であるのに対し, respectable は「社会的に尊敬されるような」→「きちんとした」, respective は「それぞれの」である。respecting は存在しない。
- (7) (d)
→ detailed は「(説明などが) 詳しい」, punctual は「(人が) 時間に正確な」である。accurate と precise の違いは難しいが, accurate は「間違い(ミス)のない正確さ」であるのに対し precise は「曖昧さのない正確さ」である。
- (8) (c)
→ ambiguous は「どちらの意味にも取れる」→「曖昧な」という意味の単語であり, この文脈には不適である。faint や subtle は「僅かな・微かな」という意味の単語。
- (9) (d)
→ (a)と(c)は主語と目的語が逆転している上, (c)は自動詞であるため consists of ... とする必要がある。(b)は account for ... = 「... (割合) を占める」である。
- (10) (a)
→ dissolve は「(固体の溶質が溶媒の中に) 溶ける」ことであるのに対し, melt は「(固体が液体に状態変化して) 溶ける」ことであり, diffuse は「(液体や気体の溶質が溶媒の中に) 拡散する」こと。